



令和4年度（2022年度）実施計画

令和4年4月1日

浜松科学館指定管理者
乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体

目次

1. 事業の基本方針		
(1) 管理運営の方針	2
2. 科学館事業計画		
(1) 常設展の運用	3
(2) 科学学習情報システムの運用	3
(3) 特別展及び企画展	4
(4) 参加型学習	4
(5) プラネタリウム	5
(6) 学校等との連携、協力	7
(7) 関係機関等との連携、協力	9
(8) ボランティア活動支援	10
(9) 調査・研究及び収集・保存、ドキュメンテーション	10
(10) パブリックリレーションズ	10
3. 経営管理計画		
(1) 開館日及び開館時間	12
(2) 利用料金	12
(3) 年間目標	13
(4) 管理運営体制	13
(5) 受付案内	15
(6) 施設貸出	16
(7) 施設維持管理	16
(8) 安全管理	18
(9) 収支計画	20
4. 自主事業計画		
(1) 必須の自主事業	21
(2) 任意の自主事業	22

1 事業の基本方針

(1) 管理運営の方針

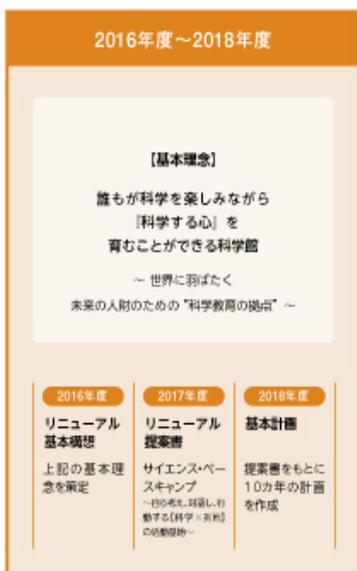
浜松科学館は、昭和 61 年に開館してから 36 年が経過しました。この 3 か年で、常設展の全面的な更新や、プラネタリウムの機器更新等の施設整備が行われ、大きな転換期を迎えています。

開館当初は青少年の育成を目指した運営方針でしたが、科学館を取り巻く時代や社会状況の変化に対応して、誰もが楽しみながら学べる、体験や交流を重視する運営方針への変革を進めてきました。浜松市総合計画で示されている浜松市未来ビジョン—市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」—では、文化・生涯学習分野の拠点の 1 つとして浜松科学館が位置づけられており、創造都市政策の推進の一翼を担っています。

管理運営業務のなかで市民にとっての科学館の価値をさらに高めていくために、使命や目標を職員自らが戦略計画として定め、評価指標に基づく PDCA サイクルを機能させ、検証や見直しを行っています。本計画書は、3 か年の中期計画の事業目標や重点戦略に基づき、令和 4 年度（2022 年度）の事業の体系をまとめた実施計画（事業計画）です。



使命・
中長期目標



2 科学館事業計画

(1) 常設展の運用

常設展を活用したさまざまな体験を通して、来館者が科学を楽しみ、もっと知りたいという探究心をもてるような運営を行います。スタッフが来館者の視点に立ち、新たな気づきや発見を得られる学びの場をつくっていきます。

① 展示ストーリーブック

常設展の背景にある地域の特性（風土や産業史等）と、展示アイテムとの繋がりを、1つのストーリーとして解説しています。冊子及びウェブサイトからのダウンロードにより利用者に提供し、必要に応じて年度ごとに内容を更新していきます。

② コミュニケーションツール

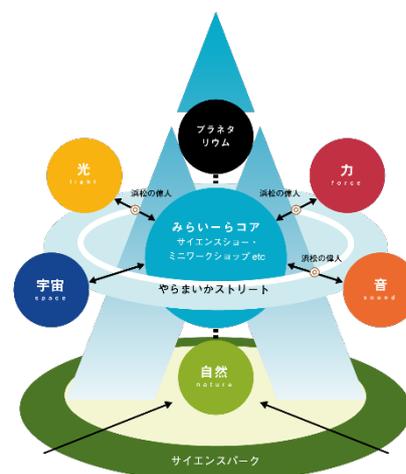
子供と保護者が一緒に展示を体験するためのツールを提供します。ワークブックを用いて、展示の適切な使い方を誘導しつつ、同伴者とのコミュニケーションを促し、気づきや疑問を引き出すことを狙うものです。今年度は、「さがしたためしてみらいーら」のワークブックを中2階ゆめたまごにて販売します。

③ 団体利用向けワークシート

団体で来館する児童生徒を対象としたワークシートを運用しています。科学館のウェブサイトからダウンロード可能です。利用者の声を聴きながら、新たなワークシートの作成、内容の充実を図ります。

④ 展示運用マニュアル

展示運用マニュアルによって科学館スタッフおよびボランティアスタッフの解説の質を向上させます。展示アイテムの効果的な運用方法を適宜更新し、来館者が気づきや発見を得られるよう工夫します。



(2) 科学学習情報システムの運用

科学館内での体験の質を高めるとともに、各個人の体験の記録を残すことで発展的な学びにつなげます。端末を所有していない来館者や学校等の団体に、タブレット端末の貸し出しも行います。

◆ デジタルデバイスの活用による展示空間での学びの拡張

スマートフォンアプリを使用することで、展示に関連した科学的な事象についてより発展的な情報を得ることができます。また、展示アイテムで作成した写真や音声データを持ち帰る機能をもたせ、振り返り学習を促します。科学に関連したクイズにチャレンジできるキオスク端末（ベースステーション）を展示室の5か所に設置します。



◆ 人工知能を用いた自動会話プログラム「コンパス君」

チャットボット（人工知能を用いた自動会話プログラム）「コンパス君」を運用します。「コンパス君」は、来館者の質問に対して答えを与えるだけでなく、疑問を引き出したり、次の学習行動（別の展示を見る、調べる等）を促したりする役割を担います。来館者の実際の発問に応じた返答を適宜組み込みます。

◆ 体験履歴の蓄積と、体験ポイントの付与

アプリあるいは IC カード（みらいーらカード）を用いると体験ポイントが付与されます。利用者の再来館を促すほか、獲得したポイント数に応じて、オリジナルグッズや特別体験の機会を提供する特典を設けます。科学館のウェブサイト上からログインできる会員ページでは、館内または帰宅後に、貯めたポイントの照会や、体験履歴の確認などができるようにします。

（3）特別展及び企画展

年間を通じて集客を平準化させ、来館者の体験の質を高めることを目指し、年 4 回の特別展及び企画展を行います。コンテンツは科学館スタッフが内製することを基本としたうえで地域企業とも連携し、館の常設展や資料等の充実にも繋がります。さまざまな体験によって科学を楽しむことができるようにワークショップ等を組み合わせ、感染対策を適正に行いつつ実施します。

◆ 2022 年度のスケジュール

夏季、春季等の学校休業期間に合わせて、以下のスケジュールで予定しています。

名称	開催時期	実施内容
夏の特別展（仮称）	7 月中旬～8 月末	様々な種類のパズルの体験をとおして、数学的な面白さを体感する。
秋の企画展（仮称）	10 月上旬～10 月下旬	（内容未定）
冬の企画展（仮称）	12 月下旬～1 月中旬	（内容未定）
春の企画展（仮称）	3 月下旬～	（内容未定）

（4）参加型学習

スタッフが内製化した参加型学習のプログラムを毎日開催します。感染対策を十分に考慮しつつ、内容の難易度や主なターゲットとなる年代に応じて、入門編、発展編①、発展編②の 3 つの区分を設け、幼児からシニアまで幅広い世代が参加できる学びの機会を提供します。

入門編

来館者が科学に親しみ、足を運ぶ動機づけとなるよう、「いつ訪れても」「予約なしで」「館内のいろいろな場所で」という方針で実施する、参加型学習の入門編です。また、子供と保護者に一緒に参加してもらう中で、家庭でできる実験などを紹介し、家族で科学を話題にするきっかけをつくれます。

◆ アクティブ展示解説

「自然」「音」「光」「力」「宇宙」の各ゾーンの特定の展示アイテムで、スタッフが特別な解説を行います。参加人数を調整し、距離を保つなど、感染対策に留意して実施します。



◆ サイエンスショー

みらいーらステージでサイエンスショーを実施します。予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムとします。感染対策のため時間を短縮し、1日に5回実施を継続します。

◆ ミニワークショップ

観察、実験、工作、プログラミング体験等のプログラムを実施します。感染対策のため、短時間で距離を保ちつつ実施し、安全に参加できるようにします。

発展編①

手を動かして考えることを重視し、観察や実験、工作などのプログラムを展開します。自ら工夫する要素を入れ込んだり、作ったものを持ち帰ることができたりと、サイエンスショーや展示学習とは異なる学びの機会を提供します。

◆ サイエンスラボ、ものづくりラボでのプログラム、展示フロアでのプログラム

内容の主目的に応じて、15分で科学実験（実験・工作）、15分で自然観察（観察）、15分で展示実験（展示アイテムを用いた実験）とカテゴリを分けて実施します。感染対策のため、体験時間は15分間を目安とします。

・発展編②

小学校高学年の児童から大人を対象とした発展的な内容のプログラムを実施します。プログラムは30分～半日程度を想定し、参加者の学びの充実度合いを高めます。感染対策のため、屋外での活動や、屋内の場合は聴講形式の催しとします。

◆ 自然観察会

科学館周辺や浜松市内で、植物、鳥類、昆虫類などの生物を対象に観察会を実施し、生物学、生態学の理解を深めるとともに、浜松の自然を体感する機会をつくれます。

◆ サイエンスカフェ

「トークオブワnder ～知って楽しい科学のお話～」と題し、カフェ&ライブラリーにおいて、気軽に楽しめる科学に関する話題を科学館スタッフがお話しします。

（5）プラネタリウム

機器更新されたプラネタリウムを活用して、光学式プラネタリウムとデジタル式プラネタリウムの両方の特長を生かした運用を行います。また、当館の特徴であるスタッフによる番組映像の内製化と、当日の夜の星空の生解説を強化します。引き続き、ドーム及びホワイエ内での感染対策を図ります。

① 投映スケジュール

平日は一般向けの投映を午後に2回行い、その他は学校を中心とする事前予約団体向けの投映を最大3回行います。土曜・日曜・祝日と学校休業期間は幼児連れの家族向けの「キッズプラネタリウム」と一般向けの「生解説プラネタリウム」を合わせて1日3回投映します。ドームスクリーンを活かした「大型映像」を平日は1回、土曜・日曜・祝日と学校休業期間は2回上映します。大人の利用を促進するため、毎月第3金曜に特別投映を行います。

回	平日	土曜日・日曜日・祝日・学校休業期
1	10:00～10:45 事前予約団体	10:30～11:10 キッズプラネタリウム
2	11:30～12:15 事前予約団体	11:40～12:35 生解説プラネタリウム
3	13:00～13:45 事前予約団体	13:15～13:55 大型映像 番組①
4	14:30～15:25 生解説プラネタリウム	14:30～15:25 生解説プラネタリウム
5	15:50～16:40 大型映像 番組②	15:50～16:40 大型映像 番組②
6	17:50～18:30 18:50～19:30 特別放映 ※毎月第3金曜日	

② 放映番組

◆ 生解説プラネタリウム

当日の星空解説と、テーマ解説の2部構成で放映します。テーマ解説では天文や宇宙に関する話題をスタッフが内製する映像を交えて紹介します。

時期	内容
3月1日(火)～5月31日(火)	「星がキラめく街 浜松～遠州のからっ風 と きらきら星」 新しいプラネタリウムの特徴である星の瞬き機能を活用して、風と星の瞬きとの関係を紹介
6月1日(水)～7月7日(木)	「七夕」(仮) 織姫星と彦星の見つけ方や七夕伝説などを紹介。
7月8日(金)～9月30日(金)	「未定」
10月1日(土)～12月25日(日)	「未定」
12月26日(月)～3月31日(金)	「未定」

◆ 大型映像

ドームスクリーンに大画面の映像作品を上映します。レーザー光源となって発色が良くなり明るさも増したプロジェクターで、より一層迫力ある映像体験が可能となるため、その機器を活かせる番組選定を行います。

時期	内容
3月1日(火)～7月22日(金)	番組①、②「ハナビリウム」 花火師たちがつないできた文化と歴史の物語。一面が花火に包まれる圧巻の映像。
7月23日(土)～	番組①「ハナビリウム」 花火師たちがつないできた文化と歴史の物語。一面が花火に包まれる圧巻の映像。
	番組②「水の惑星(仮称)」 私たちの地球が水の惑星であることを改めて感じられる作品。KAGAYA スタジオ最新作。

◆ キッズプラネタリウム

小学校低学年以下の児童が家族と楽しめる星空生解説番組を、通常より短く、やさしい内容で放映します。

時期	内容
通年 ※12通りの内容を季節ごとに展開	「こんやのおほしさま と おたんじょうびのせいざ」 当日の夜の星空解説と、黄道 12 星座に関する神話のお話

◆ 学習利用団体を対象とした放映

対象年齢等に応じた、きめ細やかなプログラムを用意します。（※今年度は 5 月 10 日より開始）

種類	内容
スタンダード（ショート）	「こんやのおほしさま（浜松の星空解説）」 幼稚園・保育園向けに、通常より短く、やさしい内容の星空生解説番組を放映
スタンダード（フル）	「浜松の星空解説+誕生日星座」 どなたでも楽しみながら宇宙への興味をかきたてられるスタンダードプログラム
理科学習 （小学 4 年生向け）	「浜松の星空解説+学習指導要領の内容+太陽系惑星旅行」 4 年生の理科の授業カリキュラム(※)に合わせた理科学習放映 （※夏と冬の星座、星の動き、星の色の違い、月の動き、月の形）
理科学習 （小学 6 年生向け）	「浜松の星空解説+学習指導要領の内容+太陽系惑星旅行」 6 年生の理科の授業カリキュラムに合わせた理科学習放映
理科学習 （中学生以上向け）	「浜松の星空解説+番組『太陽～私たちの母なる星～』」 星空解説と ESO(ヨーロッパ南天文台)制作の太陽に関するオート番組を組み合わせた 学習要素が強いプログラム

③ プラネタリウムの利用促進

◆ プラネタリウムドームを活用したイベント等の開催

時期	内容
通年 （毎月第 3 金曜日）	特別放映「スターフライト」シーズン 2 旅先を変えて、その土地から見ることができる星空を紹介する番組を放映します。

(6) 学校等との連携、協力

学校等の団体が利用しやすい環境の確保に努め、科学館の特徴を活かした効果的な学習の機会を提供します。
浜松市教育研究会理科研究部等との協力関係を維持し、共通の目的をもって協働を進めます。

① 学校等の団体利用を推進

◆ 団体向け学習プログラムの実施と利用の働きかけ

- ・ 展示見学やサイエンスショー・理科学習放映等のプログラムを、団体側が選択できるようにします。
- ・ 「学習利用ガイドブック」を各市の教育委員会を通じて学校に案内し、ウェブサイトでも公開します。

- ・ 校長会等に出向き、科学館を利用した学習について説明を行います。

◆ 学習利用にあたっての教員との連携・協力

- ・ 科学館を利用する教員の相談や下見に対応し、学習効果の高い授業の実施を支援します
- ・ 学習のための教材の貸出を行います。

② 出張プログラムの実施

◆ 学校や公共施設を対象とした出張プログラムの実施

種類	内容
サイエンスショー	体育館や理科室などでサイエンスショーを行います。屋外で行うこともできます。
野外観察	学校の校庭や近隣の公園で昆虫を採集します。採集した昆虫を観察して、体のつくりを学びます。

③ 課外活動や自由研究に関する作品展、相談等の実施

小学校や中学校、高校の児童・生徒の課外活動や自由研究等について、科学館ならではのリソースを用いて支援していきます。来館者としてではない形で、中学生や高校生との接点を増やし、科学館の存在価値を高めます。

◆ 科学の学園祭

生徒・学生たちが日々の部活動、課外活動等で取り組んでいることの成果を、ワークショップ、サイエンスショー、ポスター等の形で表現してもらい、来館者との間や生徒・学生同士での交流が生まれる場を提供します。科学の祭典「おや！なぜ？横丁」に代わる催しとして定着を図ります。

◆ 理科の自由研究「みらいーら自由に研究ラボ」

電子顕微鏡や生物顕微鏡等、科学館の設備の貸し出しや科学館スタッフとの対話をとおして、浜松市内の小・中学生の理科の自由研究を支援します。「科学の学園祭」で研究成果の発表を行い、優秀作品を表彰します。櫻場賞授与式・理科研究発表会に代わる催しとして定着を図ります。

◆ 浜松市小・中学生理科研究作品展

浜松市教育研究会理科研究部と共催し、理科自由研究の優秀作品を展示します。

◆ 理科自由研究等の相談

夏休み期間中に、児童・生徒の自由研究や発明くふう作品に関する相談を随時受け付けます。

④ 学校等における研修、実習への対応

- ・ 浜松市及び近隣市町の小・中学校の依頼に応じ、新規採用教職員及び教職員 10 年程度の教職員を対象とした社会教育施設研修を実施します。
- ・ 中学生の職場体験を受け入れ、科学館の社会的役割を伝えます。
- ・ 大学の博物館・社会教育施設実習を受け入れ、実習生向けのプログラムを実施します。
- ・ 大学の講義やゼミ等を支援します。
- ・ 企業や団体が実施する人材育成研修にも対応します。

(7) 関係機関等との連携、協力

① 市内の関係機関等との連携、協力

◆ 浜松市小・中学生発明くふうコンテスト・表彰式

浜松経済クラブとの共催で、浜松市内の小・中学生を対象とした発明くふうコンテストを行い、優秀作品を顕彰します。展示では、自身の作品を紹介する動画も公開します。

◆ トップガン教育システム協議会、浜松ユネスコ協会学校委員会との連携

市内の教育関連団体が実施する催しに協力します。

主催団体	内容
トップガン教育システム協議会	・第7回小・中学生理科研究プレゼンテーションコンテスト 10月30日(日) ※予定 ・第10回 MATH やらまいか決勝大会 12月10日(土) ※予定
浜松ユネスコ協会学校委員会	・ユネスコ科学教室 5月14日(土)、6月18日(土)、9月10日(土)、1月28日(土)、2月25日(土) ※予定

◆ グリーンサイエンスカフェ in 浜松

静岡大学グリーン科学技術研究所が主催する講演会を、大学との相談・調整の上で実施します。(開催日程等未定)

◆ WRO Japan2022 浜松大会開催への協力

◆ 浜松市天文台との連携

毎月の星空案内の共同発行を継続するほか、「ゆめいっぱい小学生宇宙絵画展」に協力します。

② 地元企業等との連携

◆ 各催しにおける連携、協力

・地元の企業等との連携によって、企画展やワークショップなどの催しを展開します。

◆ 「やらまいかテクノロジーコーナー」の設置と地元企業の技術の発信

・浜松のものづくり技術を紹介する「やらまいかテクノロジーコーナー」を設置します。

③ 全国のミュージアムや研究機関等との連携

◆ 全国の科学館等との連携、協力

・全国科学博物館協議会の総会(2月15日、16日)の開催に協力します。

・代表企業が運営する科学館や、その他全国のミュージアムと連携し、コンテンツの開発や共有を図ります。

◆ 研究機関等との連携

・科学に関連した研究機関との連携し、来館者が専門性の高い知見に触れる機会を創出します。

④ 他のイベントとの連携による賑わい創出

◆ サイエンスパークでのイベント等の開催や、中心市街地のイベントとの連携

・屋外を活用したイベント等を行い、賑わいを生み出します。

(8) ボランティア活動支援

浜松科学館の運営パートナーとして、市民ボランティアの活動を支援し、育成します。前年度からの継続希望者に加えて、新たに一般ボランティア（大人）とジュニアボランティア（中学生・高校生）を募集します。

① ボランティア活動支援の方針

ボランティアが来館者の学びをサポートすることを通じて、地域社会に貢献できる場を提供します。ボランティアの主体性を尊重し、さまざまな活動機会をコーディネートします。工作、読み聞かせ、樹木管理等のさまざまな分野のスキルやモチベーションを活かせる場を共に作り上げ、幅広い市民の参加を目指します。

② ボランティア活動の場の提供

来館者とのコミュニケーションや展示解説、ワークショップの運営などの活動の場づくりに努めます。

③ ボランティアの募集

市の広報紙および科学館ウェブサイト等への募集記事の掲出等によって募集の告知を行います。新規の応募者に対しては面談や基礎研修を実施します。（2022年度の日程・・・4月 募集、6月 研修、7月 活動開始）

(9) 調査・研究及び収集・保存、ドキュメンテーション

主に自然観察園をフィールドとし、そこで観察できる生物や科学的な事象に関する調査・研究を行い、オンライン上（note）で紹介していきます。身近な自然に気が付いてもらう機会や、それをより深く学ぶためのヒントを提供することが目的です。得られた標本やデータは、展示やミニガイドブックの形で公開します。

また、当館が展開するサイエンスショーやミニワーク、アクティブ展示解説などの無形のコンテンツを広く共有するために、ドキュメンテーションを進めます。

(10) パブリックリレーションズ

利用者の視点に立って戦略的な広報に取り組み、科学館と利用者とのより良い関係を継続的に構築するよう努めます。内製化している紙媒体やウェブ媒体のさらなる充実を図り、情報を的確に利用者や市民に届け、集客につながるリブランディングを進めていきます。加えて、科学館がより身近に感じられるよう、スタッフの特徴やキャラクターが伝わる情報発信を継続します。また、新規来館者の獲得とリピーターの定着の良好なバランスを維持させるべく、メディアリレーションにも注力し、利用者が科学館の情報に接する機会を増やしていきます。浜松市天文台との「星空案内」の共同制作を引き続き行うほか、市内のその他の施設等との連携（市内学生との共催企画等）を探ります。

◆ 紙媒体の活用

事項	内容
ニューズレター「COMPASS」	科学館の事業の全体的な広報を行う。市内及び周辺市町の小学校等へ配布する。
星空案内	浜松市天文台と共同発行し、市内の各所で配布する。
リーフレット	施設案内のためのリーフレットを制作し、来館者を中心に配布する。

ポスター、フライヤー

科学館の主要事業の集客のための広報をタイムリーに行う。

◆ ウェブ媒体の活用

事項	内容
公式ウェブサイト	タイムリーにコンテンツを更新し、来館意欲のわくような、わかりやすい情報発信を行うとともに、利用者の利便の向上を図る。
公式 SNS アカウント	Twitter、Facebook、Instagram、YouTube、note の公式アカウントを通じて情報を発信する。
公式アプリ	公式アプリ「コンパス」を用いて、アプリの利用者にお知らせを発信する

◆ 行政の媒体の活用

事項	内容
浜松市広報紙	浜松市の広報紙への記事掲載のために、科学館の最新情報を市へ提供する。
浜松市教育委員会「ミライム」	浜松市教育委員会のイントラネット「ミライム」を活用し、小中学校の先生向けに情報発信を行う。

◆ メディアリレーション

事項	内容
メディア連携	指定管理者の構成企業である SBS グループと連携した情報発信や広告掲出を行う。
パブリシティ	各メディアに対して科学館の最新情報を配信し、取材の働きかけを行い、メディア露出を増やす。

COMPASS (2020 年秋号)

PLANETARIUM プラネタリウム・大型映像館

オロの洞 「オロの洞へ、洞窟の奥へ」 10/30

はやぶさ2 「おかしな飛行機」 11/21

STAR FLIGHT 「宇宙飛行士」 10/16-18, 20, 22, 24

アトモイオン 「アトモイオン」 10/16-18, 20, 22, 24

アトモイオン2 「アトモイオン2」 10/16-18, 20, 22, 24

表紙の1枚

毎日開催

プラネタリウム・大型映像

サイエンスショー

ミニワークショップ

アクティブ観劇

MAP

観劇料金表

浜松科学館

COMPASS vol.5

2020 年秋号

3 経営管理計画

(1) 開館日及び開館時間

2022年度の休館日及び開館時間を以下のとおりとします。

◆ 開館日数

2022年4月1日～2023年3月31日のうち313日

◆ 休館日数

2022年4月1日～2023年3月31日のうち52日

休館区分	該当日		休館日数
月曜日・休日の翌日	4月11日、18日、25日	5月9日、16日、23日、30日	40日
	6月6日、13日、20日、27日	7月4日、11日、19日	
	9月5日、12日、20日、26日	10月3日、11日、17日、24日、31日	
	11月7日、14日、21日、28日	12月5日、12日、19日	
	1月10日、16日、23日、30日	2月6日、13日、20日、27日	
	3月6日、13日		
機器メンテナンス	4月12日、13日、14日 9月6日、7日、8日		6日
年末年始	12月29日、30日、31日、1月1日、2日、3日		6日

◆ 開館時間

開館時間については、平常時を9:30～17:00、7月20日から8月31日は9:30～18:00とします。ただし、特別な催しを行う際には、開館時間を延長する場合があります。

また、毎月1回 第3金曜日に「みらいーら 夜の科学館」を実施し、大人・中人を対象にじっくりと展示やプラネタリウムを楽しむことができる特別メニューを実施します。

(2) 利用料金

① 利用料金

浜松科学館条例（昭和61年浜松市条例第30号）に基づき、利用料金を以下の通りに設定します（金額には消費税及び地方消費税を含む）。昨年度より現金での收受以外に、キャッシュレス決済を導入しました。

区分	常設展入場料			常設展入場料+プラネタリウム1回分観覧料 (大型映像1回分観覧料)			
	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	
通常料金	600円	300円	無料	1100円	550円	無料	
団体料金	浜松市 湖西市	420円	210円	無料	770円	380円	無料
	その他地域	540円	270円	無料	990円	490円	無料

※70歳以上の方は入場料および観覧料が無料となります。

※2番組目の観覧料は、大人200円、中人100円が追加されます。

②その他利用料金

◆ 特別展及び企画展

開催規模や内容に応じて市と協議の上、適切に設定します。

◆ その他の料金

教室などの催しにおいて、材料費や資料費等の実費相当額を受益者負担分として徴収します。

◆ 年間パスポート

2022年3月1日にプラネタリウムがリニューアルオープンしたことを機に、年間パスポートの区分及び料金体系を変更しました。今年度も引き続き、年間パスポートは常設展入場に限定して発行をします。なお、前年度発行の年間パスポートで、プラネタリウムの更新工事期間中に有効期限を迎えた分については、今年度にまたいで期間を延長する特例措置を取ります。(金額には消費税及び地方消費税を含む)

区分	常設展入場料		
	大人	中人(高校生)	小人(中学生以下)
料金(税込)	1,500円	800円	

(3) 年間目標

浜松科学館の健全でバランスの取れた財務運営を進めるために、利用料金等の適切な受益者負担を前提として収支計画を作成し目標を定めます。※詳細は(9)収支計画参照。

①目標利用者数

有料ゾーンへの入館者となる常設展示利用者数については、年間17万人を目標とします。

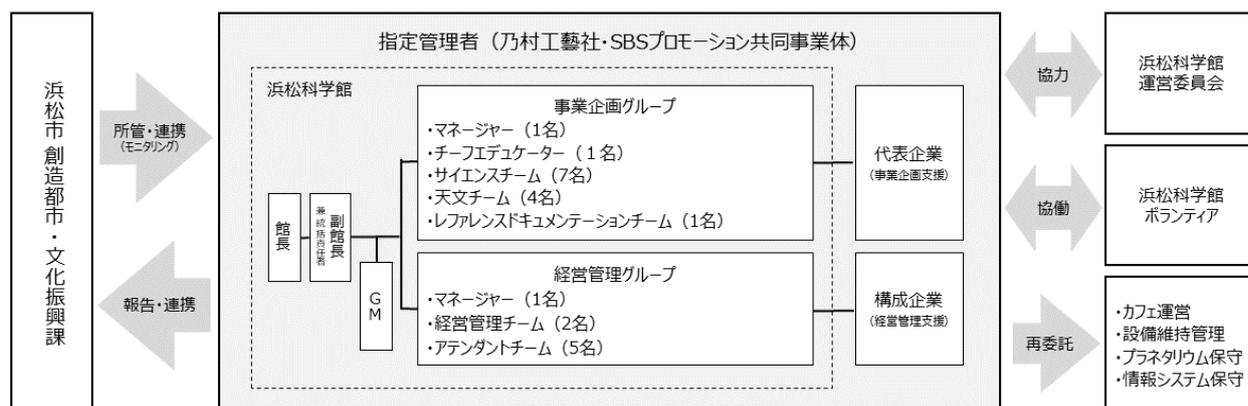
②利用料金収入

入館料・観覧料及びワークショップ等参加費による利用料金収入は6,039万円を目標とします。

(4) 管理運営体制

① 運営組織

科学館事業に必要な組織体制を構築し、必要な人員を確保します。



◆ 浜松市との緊密な連携

指定管理者制度の枠組みの中で浜松科学館の理念を推進していくために、浜松市との緊密な連絡・報告・協議体制を構築した上で、主体的な事業運営を行います。月次報告会で館長から浜松市市民部創造都市・文化振興課生涯学習担当課長へ管理運営状況を報告し、統括責任者以下の各責任者も出席して情報共有や課題解決にあたります。

◆ 共同事業体構成企業のバックアップ

共同事業体構成員は、連帯して指定管理業務に責任を負うとともに、必要な経営資源（人材・業務インフラ・資金・情報）を供給し、各社の得意分野を活かして運営をバックアップします。

◆ 全国の科学館との人的交流と事業連携

共同事業体の代表企業が運営する科学館をはじめ、全国の科学館との人的交流や事業面の連携を図る環境をつくり、運営ノウハウの共有や、スタッフ個々人の専門能力の向上を図ります。

② 職務分掌

館長、副館長、GMのもとで、経営管理グループ、事業企画グループが、それぞれの業務を推進します。

役職・担当		職務分掌	
館長 1名		職員を統率し、館を代表して渉外・外交を実施	
副館長 兼 統括責任者（防火管理者） 1名		館全体の管理運営を総括、市との連絡調整、危機管理責任者	
GM 1名		市内・県内の関係機関との連携、事業開発	
経営管理 グループ (8名)	マネージャー 1名	経営管理部門の責任者 防災管理、業務委託管理、施設維持管理	
	経営管理 チーム (2名)	(リーダー 1名※兼任) 常勤 2名	
	アテンダントチーム (5名)	リーダー 1名 常勤 4名	
事業企画 グループ (14名)	マネージャー 1名	事業企画部門の責任者 (ウェブサイト・SNS 運用、紙媒体制作管理、取材対応を兼務)	
	チーフエデュケーター 1名	学芸系・教育プログラムをチーム横断的に統括（サイエンスチームの 事業実施担当を兼務）	
	天文チーム (4名)	リーダー 1名	宇宙・天文に係わる教育普及・展示企画・研究活動
		副リーダー 1名 常勤 2名	
	サイエンスチーム (7名)	リーダー 1名	生物・地学・理工分野に係わる教育普及・展示企画・研究活動 常設展示のメンテナンス
常勤 6名			
RD(レファレンス・ドキュメンテーション)チーム (1名)	リーダー 1名	調査支援（レファレンス）、記録保存（ドキュメンテーション）、 ボランティア活動支援	

③ 浜松科学館運営委員会

科学館事業への助言および協力を得ることを目的とし、学識経験者等で構成する浜松科学館運営委員会を市と協議の上で組成し、共同事業体が事務局を担います。

○委員名簿

役職	氏名	所属
委員長	上野 征洋	静岡文化芸術大学 名誉教授
副委員長	湯口 哲世	浜松商工会議所 理事 (総務企画部長)
委員	遊橋 裕泰	静岡大学情報学部 教授 (行動情報学科長)
委員	村井 良子	(有)プランニングラボ代表 (ミュージアム・プランナー)
委員	嶋野 聡	浜松市役所 市民部 文化振興担当部長

(5) 受付案内

① アテンダント業務の方針

感染対策に努めつつ適切な利用案内を行い、顧客満足度を高めるよう努めます。業務マニュアルに基づき、スタッフに対して定期的に研修を行うことで、サービス水準の維持、向上を図ります。

② アテンダント業務

◆ 1階インフォメーションにおける受付・案内業務

業務	内容
来館者の誘導、案内、受付業務	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者の誘導、案内 (車椅子・ベビーカー等貸出、拾得物・遺失物への対応を含む) ・団体の誘導、案内 ・施設、利用方法、当日のプログラム、スケジュール等の総合案内・各種問合せ対応
発券業務	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展、プラネトリウム、年間パスポート等の利用料金の徴収 (減免手続や領収書発行等含む) ・上記に伴うチケットの発行、プラネトリウムの残席数の管理
ミュージアムショップでの販売、接客対応、補充、商品管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップ利用者への商品販売・接客対応 ・商品の補充、在庫の管理 (半年に1度棚卸実施) ・ガチャの商品補充、本体の管理 (故障対応等)
科学学習情報システム端末貸出業務	<ul style="list-style-type: none"> ・科学学習情報システムの貸出端末利用者への対応 ・端末の貸出料金の徴収
情報提供業務	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺及び市内の文化施設や関係機関に関する情報提供等

◆ プラネトリウムにおける誘導・案内業務

科学館3階のプラネトリウムドームで、プラネトリウム観覧者の誘導、案内、安全管理等を行います。

業務	内容
チケット確認	<ul style="list-style-type: none"> ・プラネトリウム観覧券の確認および感染対策の実施
ドーム管理、誘導・案内	<ul style="list-style-type: none"> ・座席への誘導および出口への誘導、非常時の際の避難誘導

(6) 施設貸出

① 施設貸出業務の方針

浜松市スポーツ・文化施設予約システム（まつぼっくり）による施設の利用申請を受け付け、利用許可を行い、利用料金を徴収します。利用日の6カ月前（教育関係団体は7カ月前）から申請の受付を行います。

感染対策の実施を図る一方、指定管理者によるイベント実施期間等を除く時期に施設の有効活用を図るため、施設の機能や利用方法等についての周知を図り、市民の学習、交流活動等での利用に対応します。

② 貸室料金等

◆ 利用可能時間

9:30 から 21:30 までを貸出時間とします。（準備、片付け、原状復帰の時間も含む）

◆ 対象諸室と利用料金

浜松科学館条例に基づき、利用料金を以下の通りに設定します。（金額には消費税及び地方消費税を含む）

対象諸室	利用区分		9:30～10:00 及び 21:00～21:30	10:00～21:00 1時間につき
ホール	教育関係団体	入場料徴収なし	470	940
		入場料徴収あり	940	1,880
	その他	入場料徴収なし	940	1,880
		入場料徴収あり	1,880	3,770
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160	320
		入場料徴収あり	320	640
	その他	入場料徴収なし	320	640
		入場料徴収あり	640	1,290
セミナールーム B	教育関係団体	入場料徴収なし	160	320
		入場料徴収あり	320	640
	その他	入場料徴収なし	320	640
		入場料徴収あり	640	1,290

◆ 利用者への対応について

椅子や机等の備品貸出の他、音響、照明、冷暖房装置等の備品は、浜松科学館条例施行規則（平成18年浜松市規則第120号）で定められた金額での貸し出しを行います。

(7) 施設維持管理

① 施設維持管理業務の方針

利用者にとって快適かつ機能的な環境を継続的に提供することを目的に、感染対策をはじめとする予防保全を基本方針として、中長期的な視点からライフサイクルコストの低減にも努めます。公共施設、社会教育施設としての施設特性を踏まえ、その目的の達成を施設維持管理面で支えるため、次の基本的な考え方に基づいて業務を行います。

- 来館者にとっての安心・安全・快適な環境を実現します。
- 当施設の建物、設備、展示装置、その他装置、物品等を適切に管理し、機能及び性能を保ちます。
- 「浜松市役所温暖化対策マネジメントマニュアル」（平成 22 年 4 月制定）に従い、省エネルギー、省資源に努め、環境負荷の低減に配慮した管理を行います。

② 施設維持管理業務

安全、安心で快適な施設環境を保つため、設備管理業務、清掃業務、警備業務を行います。

設備管理業務では専任の作業員が常駐し、空調等の設備機器の運転、保守及び監視を行います。また、清掃業務については、建物の保全並びに衛生、美観の保持のため、開館中は作業責任者が常駐し利用状況に合わせて作業を行い、夜間等閉館時及び休館日には清掃員による集中清掃を行います。感染対策として、医療施設の除菌消毒清掃を実施している事業者の協力を得つつ、ウイルス除去のための清掃業務を適切に実施します。

<設備維持管理業務内容>

* 施設設備仕様に合わせて適宜、業務内容を追加します。

区分		業務内容
日常管理	設備運転管理業務	・設備運転管理
	日常清掃業務	・日常清掃（感染対策を含む）
	警備業務	・機械警備
定期保守	設備保守点検業務	① 特定建築物定期調査報告（年 1 回） ② 建築設備定期検査報告（年 1 回） ③ 防火設備定期点検報告（年 1 回） ④ 昇降機設備保守点検（法定点検及び定期点検：毎月） ⑤ 自動ドア保守点検（年 4 回） ⑥ 空調設備保守点検（年 2 回） ⑦ フロン漏洩点検（年 4 回） ⑧ フィルター清掃（年 2 回） ⑨ 空調自動制御機器保守点検（年 2 回） ⑩ 二重吸収式冷凍機保守点検（年 4 回） ⑪ 消防設備保守点検業務（法定点検及び定期点検） ⑫ 自家用電気工作物保守点検業務（法定点検及び定期点検：毎月） ⑬ 非常用発電機保守点検業務（年 1 回） ⑭ 監視カメラシステム及び放送設備の保守点検業務（年 1 回） ⑮ 空気環境測定業務（年 6 回） ⑯ 受水槽等清掃（年 3 回） ⑰ 簡易専用水道検査及び水質検査（各年 1 回以上） ⑱ レジオネラ菌検査（年 2 回） ⑲ 害虫駆除・鼠防除管理業務（毎月） ⑳ 防火対象物定期点検報告（年 1 回）
	ホール設備保守点検業務	① 舞台照明保守点検業務（年 1 回） ② 音響設備保守点検業務（年 1 回）
	定期清掃業務	① 定期清掃（年 6 回以上） ② ガラス清掃（年 2 回以上） ③ 屋外緑地の植栽管理（年 2 回以上） ④ 紙屑危険物搬出業務（週 2 回以上）

③ プラネタリウム機器の保守管理業務

プラネタリウム機器を常に正常な状態に保ち、最適な環境の下で安定的に投映を行うことができるようにするために、日常点検を行うとともに、故障やトラブルを未然に防ぐための定期保守点検を行います。また、不具合が生じた場合は、速やかに復旧させるために、補修や部品交換等の適切な処置を迅速に行います。

<定期保守点検の実施内容> * 機器仕様及び機器コンディションに合わせて適宜、業務内容を変更します。

業務内容	頻度
総合点検 (光学式・デジタル式プラネタリウム、プロジェクター 等)	1回/年

④ 展示保守管理業務

映像機器や展示装置等の展示を常に正常な状態に保ち、故障や破損を未然に防ぐことで、来館者が安全に利用できるように、日常的な点検を行うとともに、定期的な保守点検を行います。また、映像機器や情報機器には耐用年数がありますので、機器の特性に応じて機器更新を行います。不具合が生じた場合は、速やかに復旧させるために、補修や部品交換等の適切な処置を迅速に行います。

<定期保守点検の実施内容> * 展示仕様及び機器コンディションに合わせて適宜、業務内容を変更します。

	業務内容	頻度
1	映像機器点検作業 (映像・音響装置、プロジェクター、タブレット PC 等調整・動作点検)	適時
2	展示装置点検作業 (調整・動作点検)	適時
3	造形物点検作業 (目視点検)	適時
4	屋外遊具点検作業 (調整・動作点検)	1回/年
5	霧のステージ保守点検作業 (調整・動作点検)	1回/年

(8) 安全管理

① 安全対策の基本的な考え方

来館者の安全を確保するために、防災総合対策マニュアルを策定し、施設内での事故・災害・盗難・不正・破壊等を未然に防止します。日常的な施設の施錠開閉及び入退室者の管理を行うとともに、来館者に対する細やかな心配りにより安全を確保し、危険な事態や火災・盗難等の早期発見と拡大防止に努め、災害や事故に強い施設づくりに取り組みます。

また、防災訓練（避難誘導訓練：年2回）と防災研修（年1回）を実施し、非常時に的確な行動と体制を築くことができるよう努めます。

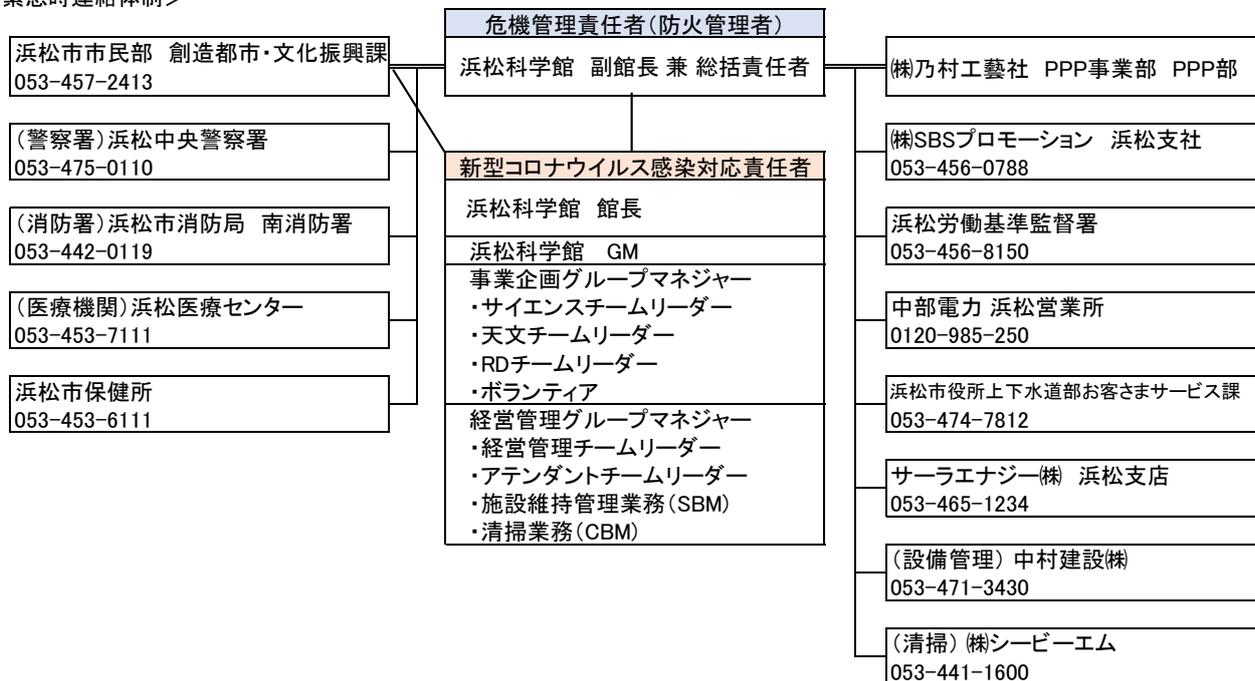
② 警備業務

夜間及び休館日等の職員不在時は、自動火災報知機と連動した機械警備業務を実施することで防犯及び防火体制を整えます。

③ 緊急時の対応体制

災害等の発生時には危機管理責任者を中心に連絡体制を整え、浜松市の関連部署と連携を密にした指揮命令系統をつくり、対策にあたります。

<緊急時連絡体制>



④ 防災対策

災害に備えて防災対策を図るとともに、本施設が被災した場合には、直ちに補修等の措置を講じ、施設の機能維持に努めます。

- ・防火管理者の選定と「消防計画」の策定
- ・自衛消防隊の編成（・隊長、副隊長、地区隊長、初期消火、通報連絡、避難誘導係、応急救護等）
- ・災害時の参集基準の設定（地震の震度や風水害の警報レベルに応じた避難、休館等の基準の設定）
- ・「危機管理マニュアル」の作成
- ・「緊急対応ポケットメモ」の作成とスタッフ全員の携行
（緊急時の行動、自衛消防隊、緊急連絡網、関係連絡先一覧、緊急退避、閉館と参集基準、近隣防災マップ、緊急時アナウンス例（多言語）、館内フロア頃の避難誘導動線と消火器、消火設備配置図 等）
- ・緊急事態に備えた教育・訓練の実施
 - －防災総合避難訓練（年2回）
 - －設備・機器の取扱い教育（消火器、AED 取扱い研修を含む）
- ・防災事項や事故情報、他館で発生した事事例等の防災情報の共有化と、職員・スタッフ各員の予防意識の喚起
 - －防災研修（年1回）
- ・文化財の保護・保全に係る消防署との連携
 - －災害発生に備えた笹ヶ瀬隕石の取扱い方法の確認及び館内消防設備等の現地調査への協力（浜松市消防局・南消防署）

(9) 収支計画

① 収入		(単位：円)
区 分	内 訳	金額
(A) 収入合計		206,101,000
1 指定管理業務委託料	指定管理料 年額140,710,900円	140,710,900
2 利用料金		60,390,100
入場料・観覧料等	常設展示・プラネタリウム等観覧料	57,630,100
特別展入場料	夏季特別展、春秋企画展等参加費	1,000,000
貸館使用料	ホール、セミナールーム貸室料	150,000
その他収入 (受益者負担金)	情報端末貸出料	10,000
	みらいーらカード発行料	100,000
	参加費・材料費	1,500,000
3 補助金、協賛金等	各種補助金、企業協賛金等	5,000,000

② 支出		(単位：円)
区 分	内 訳	金額
(B) 支出合計		206,101,000
1 事業運営業務費		22,259,000
常設展示運営費	保守点検、管理経費等	3,000,000
プラネタリウム運営費	番組制作費、大型映像賃借料、保守点検、管理経費等	10,959,000
特別展・企画展運営費	企画制作費、材料費、造作製作費等	4,500,000
教育普及事業費	展示消耗品、ミニワーク、サイエンスショー材料費等	3,800,000
2 広報業務費		5,400,000
広報費、印刷費	広告媒体費、宣材印刷費、WEBサイト改修等	5,400,000
3 施設運営業務費		130,433,000
管理運営人件費	常勤職員・臨時職員給与、福利厚生費等	120,475,000
運営事務費	消耗品費、事務機器等借上料、保険料等	9,958,000
4 施設維持管理業務費		38,184,000
維持管理業務委託費	清掃業務、設備管理業務、保守点検業務等委託料	34,622,000
その他施設管理費	安全管理費、修繕料等	3,562,000
5 公租公課		10,000
租税公課費	消費税、法人事業税等	10,000
6 一般管理費		9,815,000
一般管理費	バックオフィス事務経費等	9,815,000
収支(千円) (A) - (B)		0

※金額には消費税、地方消費税を含む

4 自主事業計画

(1) 必須の自主事業

① ミュージアムショップ運営

◆ 事業方針

浜松科学館のオリジナルショップとして、事業活動と一体的に企画・運営し、来館者の科学する心と挑戦への意欲を刺激するとともに、来館者が帰宅後にさらに学びを深めることを支援します。

また地域のアンテナショップとして、地元浜松の企業の技術や商品紹介、作家の商品販売を行い、来館者以外の方も浜松の技術に触れあえる場所とします。

◆ 概要

- ・ 営業日数：開館日と同じ
- ・ 営業時間：11：00～17：00

(7月20日から8月31日は18：00まで。イベント等での開館延長時にはその時間に合わせて営業)

◆ 販売物

事業と連動し、商品点数の多種多様化、増大をしながら、来館者の能動的な学びを支援するグッズを販売し、オリジナル商品も開発します。

- 科学館のテーマと連動したグッズ及び地元企業関連製品の販売
 - ・ 常設展示の5つのテーマ（光、力、音、自然、宇宙）やプラネタリウムに関連した教材、実験・工作材料、書籍、文具などのグッズ
 - ・ 企業展示コーナーに出展する地元企業の技術に触れられる製品
 - ・ 実験や工作のキットや道具、材料 等
- オリジナル商品の開発と販売（下記のような商品を5種類以上品揃え）
 - ・ 地元企業の技術や製品を用いたオリジナル商品（注染手ぬぐい、マグネット等）
 - ・ オリジナルデザインのおみやげ（タオルハンカチ、クリアファイル、キーホルダー 等）
 - ・ 家庭で作れる工作キット
- 特別展及び企画展やプラネタリウムの番組と連動した商品の販売

◆ 収支計画

※仕入原価に人件費は含まない

(単位：千円)

区分		令和4年度(2022年度) 月別収支見込												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
税込 金額	売上高	1,100	1,700	780	2,420	3,400	1,100	550	550	550	550	500	1,800	15,000
	仕入原価	748	1,156	530	1,646	2,312	748	374	374	374	374	340	1,224	10,200
	粗利益	352	544	250	774	1,088	352	176	176	176	176	160	576	4,800

② カフェ運営

◆ 事業方針

来館者の利便性に配慮した飲食サービスを提供するとともに、サイエンスライブラリー & カフェとして、図書の閲覧、絵本の読み聞かせなどにも利用できるようにします。カフェを目的として訪れる人も増えるように、魅力ある店づくりを行います。

◆ 概要

浜松市内の飲食店等と連携し、浜松の旬の食材を活かした料理や手作りスイーツ、ドリンクなどを提供します。

「食」に関するイベントも実施し、「食育」や「地産地消」の推進に寄与します。また、感染対策に配慮した運営に努めます。（状況に応じた席数の調整、飛沫防止パネルの設置等）

・営業日時：土曜・日曜日・祝日、長期休暇（春休み、夏休み、冬休み） 11:00～16:30（予定）

◆ メニュー

公募等により決定した営業協力者と協議し、メニューを作成します。

③ 自動販売機の設置管理

清涼飲料水等の販売を目的に自動販売機を設置します。設置台数は6台とし、下記の場所に設置します。災害時に無償で飲料を提供できる「ライフライン自動販売機」を導入し、非常時の地域貢献を図ります。また、それぞれに容器回収ボックスを設けて、適切にリサイクル処分を行います。

設置場所	台数	備考
サイエンスパーク内キッチンカーエリア	1台	清涼飲料水等
1階通用口付近	2台	〃
2階階段	2台	〃
2階キッズサイエンスランド	1台	乳飲料等

（2） 任意の自主事業

① キッチンカーのフードサービス

2022年度は、感染防止対策のため誘致を見合わせます。

② 賑わい創出のマルシェ（予定）

科学館周辺地域の賑わい創出と地域農産物等のPRを目的に、生産者や事業者が対面で商品を紹介し販売する「みらいーらマルシェ」を開催します。

- ・実施予定時期：未定
- ・実施場所：サイエンスパーク、エントランスホール 他